

脱炭素・脱フロン

グループ環境方針  ニチレイグループ環境方針／生物多様性方針
<https://www.nichirei.co.jp/sustainability/environment/policy.html>

ニチレイグループではグループ環境方針を定め、基本方針を、「卓越した食品と物流のネットワークを備える企業集団として、“食”と“健康”の源である地球の恵みを次世代に引継ぎ、『おいしさ』と『新鮮』を継続してお届けするため、サプライチェーン全体で環境負荷の低減に取り組むとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて持続可能な社会の実現に貢献していくこと」としています。

グループ環境方針では、「気候変動への取り組み」「持続可能な資源循環の推進」「自然との共生」の3つを重点課題としています。「気候変動への取り組み」においては、食品・物流企業として気候変動の影響を大きく受けることを認識しており、以下のように低炭素政策に向けた取り組みを進めています。

グループ長期環境目標と低炭素政策に向けた取り組み

グループ重要事項(マテリアリティ)の一つとして取り組むとともに、グループ長期環境目標としても低炭素政策を実行します。2021年～2030年の10年間で下記3つの施策に積極的に取り組んでいきます。

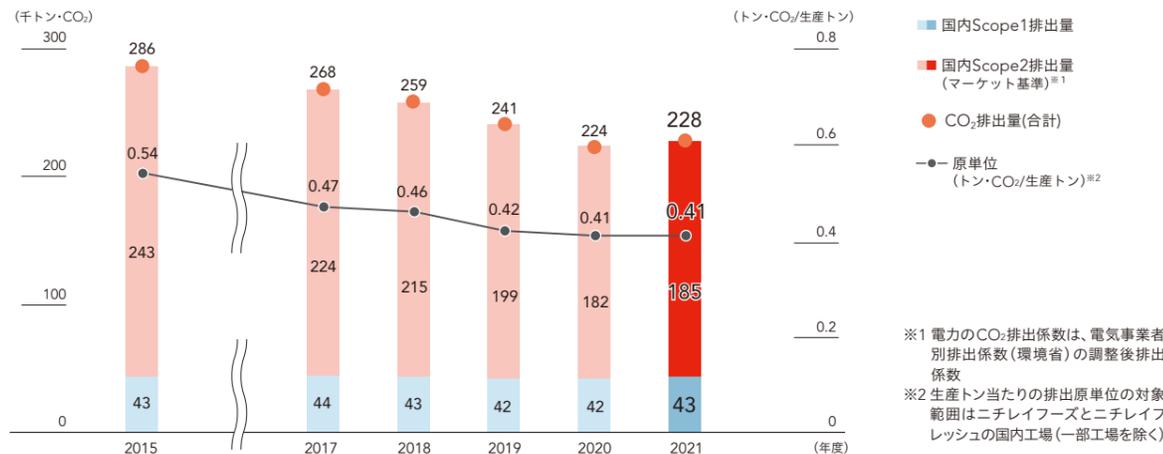
ニチレイグループは、TCFD提言へ賛同し、以下の低炭素政策を推進する

低炭素政策の柱	概要	対象範囲
1 長期CO ₂ 排出量削減目標	<ul style="list-style-type: none"> 2030年に国内・Scope1・2におけるCO₂排出量を50%※削減(2015年度比) 	国内 Scope1・2
2 海外におけるCO ₂ 排出量削減に向けた対応策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 海外事業所におけるデータ収集等の取り組みを推進 海外におけるCO₂排出削減に向けた対応策を検討・推進 	海外 Scope1・2
3 Scope3におけるCO ₂ 排出量削減に向けた対応策の推進	<ul style="list-style-type: none"> Scope3におけるデータ収集等の取り組みを推進 Scope3におけるCO₂排出削減に向けた対応策を検討・推進 	Scope3

※ 2021年6月、目標値を30%から50%へ上方修正しました。

ニチレイグループCO₂排出量の推移

2021年度までに2015年度比でCO₂排出量20.2%削減を達成しています。



再生可能エネルギー調達に関する取り組み

■ 太陽光発電の活用

ニチレイグループでは、食品工場の敷地内・低温物流倉庫の屋上などへ太陽光発電設備を設置し、CO₂排出量削減に取り組んでいます。中期経営計画「Compass Rose 2024」においては、さらに強化していきます。



太陽光発電量とCO₂削減量

	発電量	CO ₂ 削減量
2019年度	2,068Mwh	1,003トン
2020年度	2,149Mwh	986トン
2021年度	2,974Mwh	1,408トン

■ グリーン電力証書の活用

ニチレイグループでは2007年よりグリーン電力証書を毎年購入し貯蓄しています。2020年度より、グループ本社ビル(ニチレイ東銀座ビル)で使用する全電力量をグリーン電力証書を活用した再生可能エネルギーに転換しています。また、ニチレイフーズでは、2020年3月より「本格炒め炒飯」の製造ラインで使用する電力相当分のグリーン電力証書を購入し、再生可能エネルギーに転換しています。



※ グリーン電力とは、バイオマス・太陽光・風力など再生可能エネルギーでの発電電力のこと。その再生可能エネルギー発電でのCO₂排出量削減分を、電力証書という形で取引すること。

脱フロンへの取り組み

■ 自然冷媒への切り替え

2030年までにニチレイロジグループの海外拠点含む75%(貸借除く設備トンベース)、ニチレイフーズの国内自営食品工場および投資工場のフリーザーを100%、自然冷媒機への切り替えを実施します。



■ 冷媒漏れ防止への取り組み

ニチレイロジグループでは既存の冷凍機の冷媒漏れ削減に取り組んでいます。冷媒漏洩点検を定期的を実施するとともに、2021年度からは24時間計測可能な検知器の導入を進めています。

生産設備の燃料転換

食品工場では、揚げる・焼くなどの製造工程にて熱エネルギーを使います。その熱エネルギーをつくるボイラーの燃料を、灯油や重油からCO₂排出量の少ない都市ガスやプロパンガスへの転換を計画的に実施しています。

